

# 御同朋 御同行 (おんどうぼう おんどうぎょう)

13:20  
住職法話

13:00  
勤行

12:30  
開場

6月8日 ドキュメンタリー

## 同朋会ってどんなところ？

毎月第二土曜日(一月・八月は除く)は同朋会(どうぼうかい)。勤行・法話・茶話を中心として真宗の教えに触れる聞法の会です。徳泉寺ではいろいろな催しや会を運営していますが、最も大切な屋台骨とも言えるのがこの同朋会です。実際どんな会なのか、時間を追ってご紹介します。

会員のみなさんが三々五々、会場となる本堂にお集まりになります。役員の方が中心になってお湯を沸かししたり、名簿を確認して名札を用意したり。今月はじめていらしたのは、前住職の従弟姉妹のお二人。うち一人はなんと、福島市からご来院でした。全体では約30名のご参加がありました。

勤行(ごんぎょう)は正信偈同朋奉讃式(しょうしんげどうほうほうさんしき)という形式のお勤めです。全国の同朋会で、勤められている親鸞聖人の書いた偈文です。中には毎日ご自宅での正信偈をお勤めされて、暗記している方もいらっしゃいます。

住職の法話は『正信偈』の解説を毎月少しずつしながら、日々の気づきを法話としてお話しさせていただきます。今月は「世自在王(せいざいさいおう)」について。「国王」とは、なんでも思い通りにすることができ存在を指します。そんな国王が「仏(ぶつ)」に出会い、私もああいう存在になりたいと、国を棄て王を捨て、仏道を歩み始める。それはなんでも思い通りにする人生ではなく思い通りにならないことが碍(さわり)にならない人生であると気づいていく道なのです。

15:30  
片づけ

14:45  
茶話会

14:10  
前住職法話

14:00  
休憩

約一〇分間の休憩です。この間に、イベントのご案内をしたり、お久しぶりのかたとお話ししたり。今月は7月の観劇のご案内をしました。

前住職は『歎異抄』の言葉を紹介しながら、前半で住職の話した「国王」について詳しくお話しをしました。こうして予期せず違う視点から続きが聞けるのも聞法会ならではの、親子だからなのか見事な連携プレーでした。

前住職の法話が終わると前半終了。ここからは場所を同朋会館に移して茶話会となります。この時点で予定があるかたや飲食に不安のあるかたは解散となります。

この日は総勢24名が茶話会に残りました。一人500円払って思い思いの席に着きます。前住職は従弟姉妹の近くに座り、周りの方々から質問攻めに。「ひでかっちゃん」と呼んでくたさる貴重な存在です。住職、坊主もそれぞれ違うテーブルでお話しに参加しました。この場でご家族を亡くされたかたや、介護をされているかたの胸の内を聞かせていただくこともあります。

茶話会が終わるとみなさんでお片づけ。手際よく湯飲み茶碗を洗い、机を畳みあつという間に元通りに。ありがたいです。その間にも「今年の報恩講はどうしますか？早めに相談しましょう。」と提案いただいたり、「ご住職のさっきの法話の無碍の一道について、どういう意味だったかもう一度教えてもらえますか？」と質問を受けたり。みなさんの積極的な言葉に力をいただきます。

このように、御同朋、御同行を実感する同朋会が毎月行われています。どなたでも参加できますのでぜひお運びください。

# 徳とく泉すい寺じ報ほう

No. 80

発行

令和5年6月

発行元 徳泉寺

仙台市宮城野区

榴岡3-10-3

(022)297-4248

[tokusenji.sendai@gmail.com](http://tokusenji.sendai@gmail.com)

[ai@gmail.com](mailto:ai@gmail.com)



## ホームページ

[tokusenji-sendai.com](http://tokusenji-sendai.com)

[tokusenji-sendai.com](http://tokusenji-sendai.com)



## Instagram

[tokusenji.sendai](https://www.instagram.com/tokusenji.sendai)



TOKUSENJI.SENDAI